

# いちめんのなのhana

令和元年 11月28日(木)

校長 鈴木 誠



## 外国語活動授業研究会

11月21日(木)

講師の先生を招き、来年度から本格実施（本年度は移行期）となる外国語科（5，6年生）と外国語活動の授業研究を職員の研修として行いました。

2年2組と6年2組の授業実践をもとに、協議会をしたのち、講師の先生から御助言をいただきました。二つの授業に共通することとして、子供たちの明るく前向きに学ぶ姿勢と研修会などに自主的に参

加して、ほとんどの指示を英語でしたり、専門的な知識を子供たちに分かりやすく伝えたりした先生方の努力を高く評価していただきました。

6年2組の授業について、英語をもちいて自分の好きなスポーツを伝えたり、クイズ形式で級友の好きなスポーツを当て合ったりした子供たちの笑顔と心を開き合う姿をほめていただきました。それを引き出す、子供たちに心を開いて接する授業者の姿勢もほめていただきました。もっと自信をもって活動する子供の姿を引き出すための御助言や正しい文字を学ばせるための留意点を御指導いただきました。

2年2組の外国語活動の授業について、英語による先生の指示を理解して、楽しみながら級友に好きな色を伝え合った子供たちの姿と、それを引き出した授業者の指導力の高さをほめていただきました。また、主・副の授業者の役割や振り返りの視点を具体的に御助言いただきました。



きちんと並んで健診を受けました

## 就学時健康診断・入学説明会

11月22日(金)

令和2年度入学予定のお子さんと保護者を招いて、就学時健康診断と入学説明会を実施しました。お子さんたちの行儀の良さと保護者の皆さんの真剣に講話や説明を聞く姿が印象に残りました。

この日、新入学の子供たちを誘導するなど活躍したのは5年生でした。5年生は11月19日(火)に打ち合わせをして、当日を迎えました。

はじめは新入学の子供たちとの距離を測りかねていた5年生の子供もいましたが、手を差し伸べると自然と握り返されることで、笑顔が広がっていました。また、元気のよい子に手を焼く場面もありましたが、穏やかに、でも少し強めの態度をとるなどの苦勞と工夫もあったようです。準備での活躍も含めて、5年生の成長がうれしい午後でした。こうして学校の担い手が「エンジン（6年生のテーマ）」から「冒険者（同5年生）」へと引き継がれていきます。



円滑な誘導は真剣な打ち合わせから



はじめての1年生、コースだけでなく走り終わってからのことなども勉強しました

## マラソン試走11月27日(水)

降雨だけでなく前日に降った雨によるグラウンド状況も心配されましたが、マラソン大会の試走を計画通りに行いました。

はじめての1年生から小学校最後の大会を迎える6年生まで、参加したどの子供も最後まで走り切りました。多くの子供が力を出し切ったようですが、中には余力を残してゴールしたりペースの配分を反省したりする姿もありました。どの子も、試走を踏まえて大会当日の悔いない走りにつなげることができたら素晴らしいですね。

大会当日は、PTAの役員・委員の皆様にはお汁粉作りでお世話になります。また、学校周辺の道路をお借りします。警察には使用届を受理いただいているとはいえ、多くの方に御迷惑をおかけすることをお詫びします。皆様の御理解と御協力に感謝いたします。

## 3年生・社会科「イチゴハウス見学」 11月26日(火)

3年生が、社会科の学習として、学区の山崎様に御理解と御協力をいただいて、下三ツ木町にあるイチゴハウスを訪ねました。ハウスを見学するだけでなく、山崎様に御準備いただいた資料を基に苗を育てることから出荷までをお話しいただいたり、子供たちの質問にお答えいただいたりしました。

子供たちは、ちょうど目の高さでおいしそうに熟れたイチゴを横目に、誘惑に負けずに見学したそうです。

貴重な学びの機会をくださった山崎様に心より感謝いたします。



## PTA活動・親子安全教室 「スマホ・ケータイ安全教室」 11月23日(土)

PTA安全対策部が中心となって、KDDIから講師を招いて親子安全教室として「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。

はじめに、小・中学生に起こりやすいトラブル事例を、「怖さ」を実感できる動画等で紹介していただきました。トラブルを回避するためのポイント

や、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法を学びました。

続いて、グループ分けをして、それぞれの家庭でのルールや実際の状況などについて情報交換をしたり、今後のあり方について話し合ったりしました。参加された方たちから、

**「いじめに発展することもあることやその怖さが分かったので、中身をチェックしたり子供のお手本となるように心がけたりしようと思いました」**などの感想が寄せられました。

スマホや携帯電話は本当に便利な道具ですが、どんな人とどんなコミュニケーションをとっているかが把握しにくく、問題が深刻になりがちです。利用するか否かも含めて、それぞれの御家庭での慎重な対応をお願いいたします。

**通信会社・関連企業や利用者にとっては、たくさんいるユーザーの一人でも、御家庭にとってはかけがえのないただ一人の我が子です。様々なリスクを想定し、お子さんをお守りください。**計画や準備をしてくださった皆様に心より感謝いたします。